

決算

路整備としてはいかがなものか。

答 道路パトロールをおこなうなかで、大規模なものは業者に委託せざるを得ないが、村でできるところは早急に対応している。

教育委員会・教育課

問 白馬高校支援事業の進め方については。

答 検討委員会や将来を考える会等があり、相談してきた事業もある。今後は、組織再編を考え、事業を進めていきたい。

問 伝統的建造物保存地区の改修事業の現地指導状況は。

答 文化庁職員が毎年、事業確認に来ているが、観光に活かすなどの運営についてはまた別である。

問 中学校へのICT（情報通信技術）機器導入の利用や指導状況、また教員への対応は。

答 27年度は1学年分を整備し、教科で利用している。教員は技術に差があるので、専門のICT教育支援員により指導をしている。また、SNS※

の危険性についても啓発していきたい。

教育委員会・スポーツ課

問 ウイング21のクライミング施設の活用は。

答 現在、大会等は開催できていない。オリンピックのホストタウンを検討しているので、今後、活用についても検討していきたい。

意見

クロスカントリー場については、移動手段を確保するなどして、冬季に訪れている外国人の利用を進めてはどうか。

会計室

問 基金の預け入れ利率と、ペイオフ対策の状況は。

答 預入時に、各金融機関の利率調査のうえ預け入れをおこなっている。ペイオフ対策としては、起債と基金の調整により保証されている。

▽委員全員の賛成により認定すべきものと決定。

●国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

歳入は14億6595万7087円で、前年度比14・7%の増。歳出は14億569万6826円で前年度比15・5%の増。増額の主な要因は、共同事業拠出金の増によるもの。神城断

層地震の被災者に対する一部負担金免除額は86万3137円。

▽委員全員の賛成により認定すべきものと決定。

●後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

歳入は7170万6136円、前年度比1・2%の増。歳出は7147万5281円、前年度比1・3%の増。増額の要因は医療費の伸びが主なもの。

▽委員全員の賛成により認定すべきものと決定。

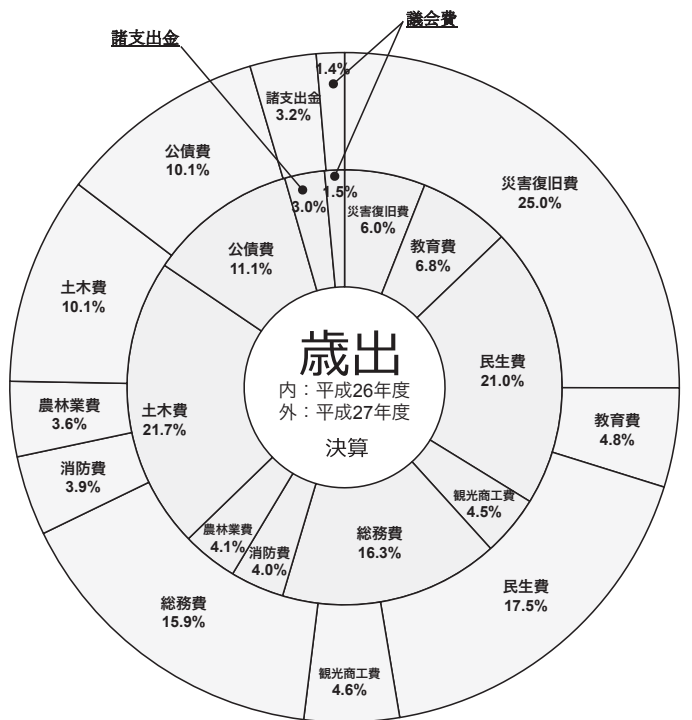
●下水道事業特別会計歳入歳出決算

歳入は8億6770万7691円、前年度比24・0%の増。歳出は8億6116万6007円、前年度比23・9%の増。神城断層地震に伴う災害復旧費は2億1275万5680円。

●公共下水道事業への一般会計からの繰入金が増加している状況と今後の事業見通しは。

問 施設整備費が課題となってくるが、使用料金の増額見直しを検討することも必要になってくる。今後の繰入金については慎重に検討していきたい。

▽委員全員の賛成により認定すべきものと決定。



●農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

歳入は554万8495円、前年度比44・4%の減。歳出は322万8001円、前年度比67・3%の減。

▽委員全員の賛成により認定すべきものと決定。

●平成27年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金の処分

水道事業会計決算の関連議案のため、特別委員会で審査をおこなった。平成27年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金6404万6584円のうち、3000万円を建設改良積立金に、また3000万円を利益積立金にそれぞれ積み立てるもの。

●水道事業会計決算

収益的収支において、収入は3億1970万4187円、支出は2億7770万2094円、当年度純利益は3679万6160円。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

資本的収支において、収入は1692万9416円、支出は1億2417万2984円。資本的収支不足額は1億724万3568円で、消費税及び地方消費税資本的収支調整額413万8414円と、過年度分損益勘定留保資金1億310万5154円で補てん。

▽委員全員の賛成により認定すべきものと決定。

※ 社会的なネットワーク構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと